

産技連知的基盤部会地質地盤情報分科会

平成 29 年度講演会「首都圏の地質地盤」のお知らせ

講演会タイトル 「首都圏の地質地盤」

日程 平成 30 年 2 月 23 日（金）13：00～16：50

会場 北とぴあ（東京都北区王子）7 階 第一研修室

主催 産業技術連携推進会議 知的基盤部会 地質地盤情報分科会

開催趣旨 人口が集中している首都圏において、産業立地やインフラ整備の計画や防災対策を考える上で地質地盤情報の重要性が強く認識されている。とくに地震や液状化の対策として、また大規模な地盤災害のリスク低減のためにも地下地質情報の整備は必須である。一方で、地下地質の分布や構造を理解するためには、古生物学や層序学、堆積学などの地質研究が重要であり、それを基に地盤工学や地震工学、3次元モデリングなどの応用研究や技術の開発が進められている。今回の講演会では、首都圏の自治体や産業技術総合研究所が進めている地質情報整備や地盤災害対策について、基礎から応用にわたる研究事例を紹介する。

参加無料・事前申込不要

プログラム

- 13：00-13：05 開会挨拶 田中裕一郎（地質地盤情報分科会会長）
- 13：05-13：40 杉本隆男（早稲田大学理工学研究所招聘研究員）：都市土木工事と地盤災害
- 13：40-14：15 遠藤邦彦（日本大学名誉教授）：東京の台地部の地形と地質層序の再検討—東京層を中心に—
- 14：15-14：50 川辺文久（文科省）：武蔵野台地東部の更新世貝化石の研究史と今後の展望
- 14：50-15：00 休憩
- 15：00-15：35 野々垣進（産総研）：都市域の地質地盤図—千葉県北部における 3次元地質モデリングと Web 配信—
- 15：35-16：10 納谷友規（産総研）：都市域の地質地盤図—千葉県北部における更新統下総層群の層序と分布形態—
- 16：10-16：45 風岡 修（千葉県環境科学センター）：東京湾岸低地北部の千葉県側での沖積層・人工地層の層序・層相と液状化—流動化のメカニズムについて
- 16：45-16：50 閉会挨拶

講演会の問い合わせ先

産業技術連携推進会議 知的基盤部会 地質地盤情報分科会事務局
sangi-chishitsu-jimukyoku-ml@aist.go.jp 電話 029-861-2554

*ジオ・スクリーニングネット：CPD（3 単位）の取得が出来ます。取得を希望される方は当日のお申し出でも受講証明書を発行できますが、事前に上記問合せ先のメールアドレスにご連絡いただくとスムーズに対応できます。